

# 「インターンシップ推進による産業人材の育成」 (H18. 6~)

【幹事】 長崎県 産業労働部 若者定着課未来人材課

【参加県】 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、山口県

## 目的

経済活動が県域を越えて行われる中、九州各県の大学等で学ぶ学生がインターンシップを体験する際、体験先を地元企業だけでなく九州広域で選択できる体制(=広域インターンシップ)を整備することにより、将来の九州地域を担う人材を九州各県が協力して育成し、産業振興を推進していく。

## 取組内容・成果

### 【概要】

九州各県のインターンシップ推進組織等を通じて、受入企業リストの交換、各県大学への周知、連絡調整を行うことにより、九州各県大学生の県域を越えたインターンシップを実施。

### 【年度別実績(参加数)】

年度	事業所数	大学数	学生数(名)
H19	22	14	22
H20	59	26	70
H21	79	27	93
H22	97	28	118
H23	86	32	126
H24	68	28	83
H25	77	29	107
H26	97	34	148
H27	78	32	121
H28	86	42	130
H29	106	35	150
H30	92	27	169
R1	75	33	137
R2	37	18	61
R3	105(25)	33(4)	179(57)
R4	47	31	105
R5	56	36	125
計	1,211(1,267)	469(504)	1,819(1,944)

九州・山口8県(R3~沖縄県除く)による広域インターンシップ推進体制と、各県を繋ぐ横の連携体制が構築されている。  
令和5年度も継続して広域インターンシップを実施した。

### 【受入先の感想・意見】

・意欲・態度ともに高いレベルにあり、受入側としてもモチベーションが上がった など

### 【参加学生の感想・意見】

・実際に企業に行くことで、雰囲気や仕事内容が分かり、自分が就職するにあたり大きな経験ができた。  
・残業などの話も隠さず全てを正直に話してくださったのが、とても好印象だった。その仕事の辛さも乗り越えられるような暖かい会社で就職を考えてなかったが、進路選択の1つになった。 など

※R3 ( )内はコロナウイルス感染拡大の影響による中止

※令和5年度 長崎県実施結果  
(県内・県外学生全般) アンケート

## 今後の課題・取組

広域インターンシップの推進・連携体制を有効に活用し、引き続き事業を継続する。

平成20年に所期の目的達成報告を行い、以後、10年以上にわたって、各県の担当部署間による情報交換を継続しており、取り組みは定着したと言えることから、政策連合のあり方見直しの中で、発展的解消として政策連合を廃止する。